



阿蘇に魅せられ、
歴史・環境・自然にと情熱をそそがれる
たかはし よしなり

高橋佳也氏



【プロフィール】

住所：一の宮町宮地
年齢：73歳
趣味：カメラ、釣り、絵画
座右の銘：一日一日を大切に
阿蘇の自然を愛護する会会員
環境省自然公園指導員
県自然ふれあい指導員
阿蘇自然案内人協会会長

ミヤマキリシマの季節がやってきた。阿蘇の自生地群落では、すでに開花が始まっています。この素晴らしい、そして壮大な景観を高岳頂上付近から仙酔峡、五岳西側など広い範囲にわたって楽しむことができます。しかし、この景観を作り出している自然の背景には多くの課題があります。その一つとして害虫駆除に関すること、キシタエダシヤクやそれに類する昆虫などの発生があります。これらの害虫は花のつぼみはもちろんのこと、芽のことごとくまで食い荒らします。そこで駆除については環境省や県、市によって事前の調査が行われています。その結果により、薬剤の散布方法が検討されるのです。むやみに薬剤駆除をすれば害虫の天敵、例えば鳥などにも影響がでてしまいます。

～阿蘇の野草との共生～ 「ミヤマキリシマ」とその課題

種の保存が図られているのです。しかし、踏み込みによって被害を受けるのは幼苗のみでなく、マイヅルソウやイワカガミ、ツクシゼリなど背丈の低い野草などもダメージを受けることになるのです。

ミヤマキリシマの育っている環境は他の木々や草花の生育には適しい厳しい場所であり、それがまたミヤマキリシマの群落が保たれてきた条件でもあります。この自生地の環境を維持していく為に、多くの人々の関与・理解が必要です。盗掘・盗採の防止はもちろんのこと、この貴重な景観を守る為に一人ひとりが郷土の誇りとしての価値観を持つことが求められているのではないかと思うのです。さらに一つの文化財として子ども達にもこの景観の壮大さ、貴重さ、環境保全の大切さを受け継いでいくよう語りあっていただければと思う次第です。

ちなみにこの時期、阿蘇の草原にはキスマイレヤサクラソウ、リュウキソウ、イブキトラノオといった阿蘇ならではの草花が開花します。いずれも大切な宝物として見守ってほしい花々です。

身近な道路・河川をドレスアップさせてみませんか？

～道路河川環境美化コンクール実施のご案内～

道・川・水路は私たちにとって切っても切れない仲です。そこで、花などを植えてきれいにドレスアップさせてみてはいかがでしょうか？



▲旧阿蘇町で昨年開催し、最優秀賞を受賞した「狩尾3区産水会」

- 実施対象：地域生活に密着した全ての道路・河川・水路
(延長20m又は面積50m²以上)
- 実施内容：花等の植栽による環境美化等
- 参加資格：ボランティアによる各種団体(任意の団体でも可能です)
- 応募締切：6月30日(木)
- 申込み先：阿蘇市役所建設課
- 審査：10月に最終審査(管理状況・見栄え等)を行います。
- 表彰：入賞者に直接通知するとともに、広報11月号で紹介します。
- 賞金：最優秀賞5万円(1点) 優秀賞2万円(2点)
佳作1万円(5点) 奨励賞5千円(12点)
- その他：事故等の責任及び参加に関する全ての費用は参加者の負担とする。
ただし、1団体当たり1万円を限度に花苗代を支給する。

申込み・問合せ先
阿蘇市役所 建設課
Tel: 22-3187